ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

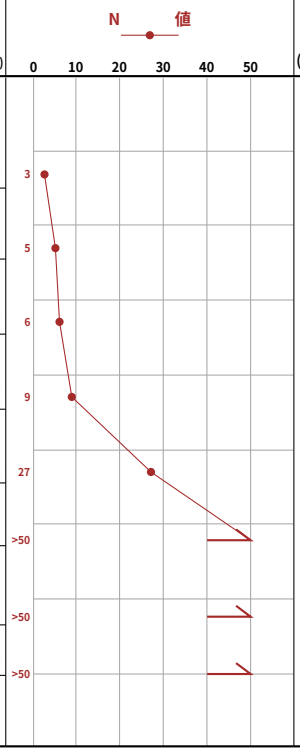
シートNO.

ボーリング名	BV-2	調査位置				北　緯	36 ° 47 ' 39.6900 "
発注機関	栃木県日光土木事務所			調査期間	2010-01-21 ～ 2010-01-23	東　経	139 ° 35 ' 46.1700 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	98.40 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 36.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具
総掘進長	8.02 m								エンジン	ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	97.05	1.35	1.35		盛土 (BS)	暗褐		軟らかい	上部20cm有機質土 礫混じり粘性土主体 不均質な層相		
2	96.20	0.85	2.20		火山灰質粘性土 (V)	茶褐		軟らかい	上部25cm有機質土 含水比・粘性中位 少量の軽石混入し不均質		
3	95.10	1.10	3.30		軽石 (Pm)	黄褐～赤褐		中位	上部40cm黄褐色の七本桜軽石 以深今市軽石　粒径不明瞭 含水比上位 深度3.05より火山灰質粘性土		01/22
4 5	92.80	2.30	5.60		火山砕屑物 (Vc)	暗茶褐	緩い		火山灰質砂礫 火山灰・火山砂・火山礫で構成される 全体的に固結度低い 火山礫は30mm程度以下が主体		
6 7 8	90.38	2.42	8.02		火山砕屑物 (Vc)	暗灰～茶褐	非常に密な		巨石・粗石混じり火山灰質砂礫 巨石・粗石間は、火山灰・火山砂・火山礫で充填 充填土質の固結度高くなる 深度5.60m付近コア長250mmの巨石混入 深度6.20m付近コア長100mmの粗石混入 深度7.45mよりコア長400mmの巨石混入		01/23

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1／12	1／13	3／35	3
1.50					
2.15	2	2	1	5／30	5
2.45					
3.15	2	2	2	6／30	6
3.45					
4.15	5	2	2	9／30	9
4.45					
5.15	13	6	8	27／30	27
5.45					
6.15	30	20／3		50／13	>50
6.28					
7.15	19	31		50／20	>50
7.35					
8.00	50／2			50／2	>50
8.02					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験